

科目ナンバー： DA11

授業コード： 8410000100

講義科目名称： 看護学研究法 I

英文科目名称： Watch Nursing Research

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員			
◎石田和子、常盤洋子、小長谷百絵、谷本千恵、高林知佳子、樺澤三奈子			
添付ファイル			

授業種類	<b>【開講】</b> 前期 <b>【授業時間】</b> 30 時間 <b>【担当教員】</b> <b>【氏名】</b> ◎石田 和子 常盤 洋子 小長谷 百絵 谷本 千恵 高林 知佳子 樺澤 三奈子 <b>【所属】</b> 新潟県立看護大学 同上 同上 同上 同上 同上 <b>【研究室】</b> 317 320 213 312 304 318 <b>【メールアドレス】</b> kazukoi@niigata-cn.ac.jp yotokiwa@niigata-cn.ac.jp konagaya@niigata-cn.ac.jp tanimoto@niigata-cn.ac.jp takabaya@niigata-cn.ac.jp minako-k@niigata-cn.ac.jp
	<b>【本学の科目区分】</b> 共通科目  <b>【DP 1】 【DP 2】 【DP 3】 【DP 4】 【DP 5】</b> ◎ ○ ○ ○ ○

到達目標	修士課程における学修と研究を通して修得した研究方法論を基盤として、さらに高度な看護学研究を、自立して遂行する能力の修得に向け、次の目標の到達を目指す。尚、看護学研究法 I は質的研究に着眼して授業を展開する。 1 看護学の発展に向け、看護学研究の意義を述べることができる。 2 質的研究の適用が可能な研究課題について説明することができる。 3 質的研究方法論各々（グラウンデッド・セオリー、現象学的アプローチ、内容分析など）の特徴について述べるができる。 4 質的研究方法論を適用した国内外の研究論文を精読し、クリティークを実施することができる。 5 国際学会への参加の基盤となる英語力を修得し使用することができる。
------	---

授業概要	博士の学位を持つ看護専門職として、看護学研究の意義と研究能力獲得の必然性を再確認するとともに、特に質的研究の遂行能力獲得に向け、質的研究方法論各々とその特徴を理解するために必要な内容を学修する。また、研究論文をクリティークする能力の獲得に向け必要な内容を学修する。準備学修が必須の科目である。
------	--

授業計画	1 授業内容 授業形態：講義 学修課題：授業概要の理解 学修内容：1. 看護学研究法 I の概要 2. 授業の進行と準備学習 事前学修：研究課題を明確にして参加する 事後学修：講義内容を振り返る 備考：石田 2 授業内容 授業形態：講義 学修課題：質的研究の魅力とその実際 学修内容：1. 質的研究と量的研究 2. 質的研究の適用 3. 理論開発における質的研究の位置づけ 4. 質的研究方法論を適用した看護学研究 事前学修：研究課題を明確にして参加する 事後学修：講義内容を振り返る 備考：石田 3 授業内容 授業形態：講義 学修課題：グラウンデッド・セオリー 学修内容：①グラウンデッド・セオリーの概要 ②グラウンデッド・セオリーによる研究
------	--

4	<p>事前学修：事前に提示した文献を読む        事後学修：講義内容を振り返る        備考：小長谷</p> <p>授業内容        学修課題：グラウンデッド・セオリー        学修内容：①グラウンデッド・セオリーの概要                  ②グラウンデッド・セオリーによる研究</p>
5	<p>事前学修：事前に提示した文献を読む        事後学修：講義内容を振り返る        備考：小長谷</p> <p>授業内容        授業形態：講義        学修課題：ライフヒストリー        学修内容：①ライフヒストリーの概要                  ②ライフヒストリーによる研究</p>
6	<p>事前学修：研究課題を明確にして参加する        事後学修：講義内容を振り返る        備考：常盤</p> <p>授業内容        授業形態：講義        学修課題：ライフヒストリー        学修内容：①ライフヒストリーの概要                  ②ライフヒストリーによる研究</p>
7	<p>事前学修：研究課題を明確にして参加する        事後学修：講義内容を振り返る        備考：常盤</p> <p>授業内容        授業形態：講義・プレゼンテーション・討議        学修課題：質的研究の方法論とその方法論を用いた研究        学修内容：内容分析                  ①内容分析の概要                  ②内容分析による研究</p>
8	<p>事前学修：          ・内容分析の目的・特徴・基本手順を文献で確認しておく。          ・内容分析を用いた先行研究を読み、分析の流れを把握する。</p> <p>事後学修：          ・内容分析の特徴と他の質的研究方法との違いを整理する。          ・内容分析を自身の研究にどう活用できるか整理する。</p> <p>備考：高林</p> <p>授業内容        授業形態：講義・プレゼンテーション・討議        学修課題：質的研究の方法論とその方法論を用いた研究        学修内容：内容分析                  ①内容分析の概要                  ②内容分析による研究</p>
9	<p>事前学修：          ・内容分析の目的・特徴・基本手順を文献で確認しておく。          ・内容分析を用いた先行研究を読み、分析の流れを把握する。</p> <p>事後学修：          ・内容分析の特徴と他の質的研究方法との違いを整理する。          ・内容分析を自身の研究にどう活用できるか整理する。</p> <p>備考：高林</p> <p>授業内容        授業形態：講義        学修課題：その他の方法論        学修内容：①エスノグラフィー                  ②KJ法の概要</p>
10	<p>事前学修：          ・指定課題についての事前レポートを作成する。</p> <p>事後学修：          ・講義、ディスカッションをもとに文献を活用して事前レポートを修正する。</p> <p>備考：樺澤</p> <p>授業内容        授業形態：講義        学修課題：その他の方法論        学修内容：①エスノグラフィー                  ②KJ法の概要</p>
11	<p>事前学修：          ・指定課題についての事前レポートを作成する。</p> <p>事後学修：          ・講義、ディスカッションをもとに文献を活用して事前レポートを修正する。</p> <p>備考：樺澤</p> <p>授業内容        授業形態：講義・プレゼンテーション・討議        学修課題：和論文クリティーク        学修内容：質的研究における論文クリティーク                  研究論文のクリティーク（自分の研究課題の文献クリティーク和文）</p>
12	<p>事前学修：研究課題を明確にして参加する        事後学修：講義内容を振り返る        備考：谷本</p> <p>授業内容        授業形態：講義・プレゼンテーション・討議        学修課題：和論文クリティーク        学修内容：質的研究における論文クリティーク                  研究論文のクリティーク（自分の研究課題の文献クリティーク和文）</p>
13	<p>事前学修：研究課題を明確にして参加する        事後学修：講義内容を振り返る        備考：谷本</p> <p>授業内容</p>

	<p>14</p> <p>授業形態：講義  学修課題：英論文クリティーク  学修内容：学生個々の関心に基づく、質的研究方法論を用いた研究論文の検索と選択、選択した論文の閲読とクリティーク、資料の作成英文  事前学修：研究課題を明確にして参加する  事後学修：講義内容を振り返る  備考：</p> <p>授業内容  授業形態：講義  学修課題：英論文クリティーク  学修内容：学生個々の関心に基づく、質的研究方法論を用いた研究論文の検索と選択、選択した論文の閲読とクリティーク、資料の作成英文  事前学修：研究課題を明確にして参加する  事後学修：講義内容を振り返る  備考：</p> <p>15</p> <p>授業内容  授業形態：講義  学修課題：質的研究遂行に向けての課題  学修内容：各自の課題の明確化 最終レポート  事前学修：研究課題を明確にして参加する  事後学修：各自の研究課題をまとめて発表する  備考：石田</p>
事前・事後学習	適宜指示します。
評価方法、評価基準	課題レポート：テーマ「質的研究の意義と適用」25%、最終レポートテーマ「看護学研究法 I における学修成果」50%、出席を含む授業への参加状況 25%
テキスト	<p>適宜指示します。</p> <p>【第11, 12回】牧本清子・山川みやえ編著(2020)：よくわかる看護研究論文のクリティーク第2版，日本看護協会出版会.</p> <p>【第13, 14回】Gray, J. R. &amp; Grove, S. K. (Eds.) (2021): Burns and Grove's the practice of nursing research: Appraisal, synthesis, and generation of evidence(9th ed.). St. Louis, MO: Elsevier.</p>
参考図書・資料等	適宜紹介する。
受講、課題、資料配布等のルール	双方向通信システムによる遠隔授業とする。その他、初回開講時に説明する。
教員からのメッセージ	シラバスを精読するとともに、課外学修の時間の確保が必須な科目である。
オフィスアワー	木曜日の在室時は、可能な限り対応する。